

以上児(3.4.5 歳児) 評価者評価集計表

1 こどもの姿	ほし	つき	たいよう	評価者2	評価者3
① こどもは、新しい遊びを考え出したり、自分から環境に働き掛けようとしている。	A	A	A	C	A
② 楽しんでいる遊びを繰り返したり、発展したりしようとしている。	A	A	A	A	A
③ いろいろな遊びに興味をもったりチャレンジしようとしたりしている。	A	A	A	A	A
④ 興味をもったことに、じっくり、取り組もうとしている。	A	A	A	A	A
⑤ 自分だけでなく、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ姿が見られる。	A	A	A	A	A
⑥ 友達と共通の目的を達成するために考えたり試したりしようとしている。	A	A	A	A	A
⑦ こどもは、時間や流れを意識し、遊びや生活に見通しをもって行動しようとする姿が見られる。	C	C	A	C	C
⑧ こどもは、遊びや生活の中で自分のめあてや課題をもち、諦めずにやろうとする姿が見られる。	A	A	A	C	C
⑨ 環境として置かれたものからイメージを広げ、自分たちで遊びをつくり出したり発展させようとする姿が見られる。	A	A	A	A	A
⑩ トラブルが起こったときに自分たちで考え、解決しようとする姿が見られる。	A	A	A	A	C
⑪ 保育者や友達に自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしようとする姿が見られる。	A	A	A	C	A
⑫ 戸外やホールで全身を使って遊んだり、多様な遊びをしたりする姿が見られる。	A	C	A	A	A
⑬ ルールを理解して様々な集団遊びを楽しむ姿が見られる。	C	C	A	A	C
⑭ 安全について考え、安全に気を付けて行動しようとする姿が見られる。	A	A	A	A	A
2 保育者のかかわり	A	A	A	A	A
① こどもが保育者を信頼し、自分が受け入れられ見守られているという安心感を持って生活できるよう配慮をしている。					
② 個々のこどもの発達を理解し、その過程に応じて、体を動かす遊びを取入れている。	A	C	A	C	C

2 保育者のかかわり	ほし	つき	たいよう	評価者2	評価者3
③ こどもが主体的に、遊び始める時間と空間を保障している。	A ゆったりした時間の設定がよかった。	A 制作の時間もたっぷりとして戸外での色塗りの場所づくりもとてもよかったです。	A しっかり時間があつたのがよかったです。	A とてもできていることに驚きました。	A 十分達成できていると感じます。
④ こどもが自分の目的を持って、考えたり、試したり、工夫したりする過程を大切にしている。	A プチプチのバッグ、とてもすてきでした。大人には考え付きません。	A プチプチのバッグ、とてもすてきでした。大人には考え付きません。	B 年長さんの創意工夫を引き出す素材が園庭に少ないので、色水遊びの準備と、事前の砂+水の絵本の導入があつたが、ほんの数人しかマッチしていなかった。	A	A 子どもたちの遊びを見守りながら、活動が停滞している子へは積極的に声掛けを行い、子ども同士でうまく進んでいる場面は適切な距離で見守っていた。
⑤ こどもが周囲の自然に親しみを持てるよう、それらを生活や遊びに取り入れている。	A 雨の日散歩や風の日散歩、お部屋のそばでいちごを育てているのがすてきでした。	C 今回は確認できませんでした。	B 白いアジサイの花と、木の葉、砂、水。手が届くものはすべて使って遊んでいたが、年長にとってはあまり種類が少なく、もう少し豊かに発展させたいと感じました。	A	A 戸外での活動を中心に、葉や枝、虫などに興味を持ち、関わる子の姿が見られました。
⑥ こども一人一人の発達の特性や発達の課題を理解してかかわろうとしている。	A	A	A	A	C 一人ひとりをどう理解し、関わろうと意図していたかがわからないので評価できませんでした。
⑦ こども一人一人が自分の思いや考えを出していく中で、互いを尊重し合う心が育つようなかかわりをしている。	A	A	A 先生方が子ども一人ひとりをとても尊重しているのが、子どもたちに伝わっていると感じました。	C	A
⑧ 特別な配慮が必要なこどもへの保育に当たっては、ほかのこどもとの生活を通して共に成長できるように援助している。	A 完全インクルーシブで、先生たちの関わりを見て周囲の子たちも仲間として関わっていた。	A	A	A その子がちがう場所にもしっかり見守っている大人がいて適切な言葉かけをしていた。	C 対象となる子どもがどの子なのかわからないため評価できませんでした。
3 環境構成	B	A	—		A
① こどもの自主性、自発性を尊重し、遊び込むことができる環境づくりをしている。	A 遊び込むには、素材が少なすぎて発展が難しいと感じた。花や土の種類、木の葉、木の実などがもう少しあれば豊かな発想を引き出せるのでは…。	A 絵の具用のじょうろ、皿やハケ、ペットボトル等、子どもが使いやすいそうで、たくさん準備されていてとても良いと思いました。思いっきり自由に活動していました。	A 掘ったり、混ぜたり、ちぎったり、虫を捕まえたり、年長さんの遊びをもっと豊かにできそうです。	A	A 子どもたちの主体的な活動を促すための施設や掲示、教材の配置など、様々な工夫がされており、とても良い環境だと思います。
② こどもの興味に合わせた玩具や絵本が、こどもの手の届く場所に適切な量で用意されている。	A	A	A	A	A ②～⑦は、①に同じ
③ 外気に触れ、自然を感じ、探索したり、体を動かしたりする楽しさを味わうことができる。	B 【とことん山】土の種類がせいか、植物が少ないので虫の種類も少なく、探索は園外の公園や畑に行かないとできないのが少し残念に感じた。子どもが親しめる土だともっと良くなると感じました。	A	A	A 保育室の外も使った広々、のびのびと活動できて楽しそうでした。	A 保育室からすぐ外に出たり、畑で虫や植物に触れられる環境が素晴らしい。
④ こどもが安心して遊べる安全面に配慮された園庭等が確保されている。	B 【とことん山】小さい子ども高所に登れる設計なので、垂直落下の可能性があるとところの地面がもう少しふかふかに耕されていればさらに安心だと感じた。(高跳びマットみたいなのを置いてしまうと逆に飛びたくなるので、あくまでも土や砂を少し深く)	B	A	A 年中さんにとっても、大きなけがにつながる高さの部分の土の深さが心配でした。	A 年長さんの発達段階なら、それほど危険に感じるところはありませんでした。
⑤ ドキュメンテーションは、保育の意図が伝わるように表現されている。	A 先生方の目線や願いが伝わってとても素晴らしかったです。	A この時期に大切な言葉のトラブルの乗り越え方を、保護者に伝わるよう分かりやすく表現されていて、先生方の願いが伝わりました。	A 田植えや遠足の様子など、園外に飛び出して、生き生きと活動する楽しそうな雰囲気も伝わってきました。クラスターが実践されていました。	A	A とことんさんのドキュメンテーションはとても細かく理解しやすいです。
⑥ 施設内の清掃が行き届いており、保育室、トイレ等の清潔が保たれている。	A	A	A	A	A
⑦ 手洗い場や机、椅子等、こどもの身体にあつた大きさを整えられている。	A	A	A	A	A
記述欄	○ 遊びに夢中になっている子に、お茶を飲むよう促しても、なかなかいかなかったとき、担任の先生同士で、その子のコップを持ってきてもらうよう連携して飲ませてあげていたのが、ほほえましかった。 ○ 畑に行ったときの子どもたちの驚きや喜び方がすてきで、今までかかわってきたことが伝わってきた。とても楽しい畑で感動しました。 ○ 担任の先生たちのあつたかい声掛けや、支援の先生のHAPPYな空気感がとてもよかったです。	○ 最初から「街づくりしよう」とは関係ない遊びに夢中になっている子がいて、どこからどこまでをクラスの活動の範囲としているのか、また、全員に一度は体験させてあげたい活動は今回はあつたのかなど、先生方のねらいをお聞きしたかったです。まちづくりにマッチしていた子たちが制作に夢中になっている姿やどんどん発展していく様子は素晴らしかったです。 ○ 担任の先生の穏やかな話し方、支援の先生がこどもたちの制作にさりげなく支援する雰囲気もとても幸せに感じました。	○ 担任の先生が全員の子に意識を配っていて、優しく声を掛ける姿が、日々の子どもたちみんなに伝わっているんだなと感じました。支援の先生の雰囲気もすてきでした。 ○ 色水遊びで黒になった時の驚きの声がかつてもかわいかったです。夢中になっている姿を見ました。○畑の植物看板がとてもすてきでした。 ○ 鬼ごっこなどでみんなに大声で呼びかけたり、違う遊びの人同士が交わることが時間いっぱい見られなかったもので、集団遊びの種まき部分も先生たちは意図的にしないで、子どもたちにゆだねているのかな？と感じました。模倣先があれば、もっと活発に人に関わるのかな？	園舎・環境はもちろんのこと、すべてに驚きと感銘を受けました。子どもたちも明るく元気で自立しているように見えました。 また、私が一番感動したところは、職員の意識の高さでした。どの職員に質問してもすべて方向性が同じで答えも同じでした。それはとても難しく大変なことです。 園長先生、副園長先生の目標の高さの表れだとあらためて素晴らしいと思いました。先生の心がそのまま子どもに反映するとよく言われますが、とことんさんは先生方のイキイキが子どもたちのイキイキにつながっているのですね。 大変勉強になりました。ありがとうございます。	○ 子どもたち一人ひとりが自分の興味に基づいた活動を様々な場で展開されるため、子どもたち一人ひとりや集団での活動の変化など、じっくり見ることが難しく、適切に評価できたかいささか不安です。 ○ 幼保小の接続がよりスムーズなものになるよう、連携に向けた具体的な取組みの必要を感じました。